

第 1 9 6 6 回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和 5 年 1 0 月 1 2 日 (木) 午前 1 0 時開会
午前 1 1 時終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、戸所教育長職務代理者、坂東委員、小林委員、首藤委員、櫻井委員、石井副教育長、古垣教育総務部長、青木県立学校部長、石井市町村支援部長、無川教職員採用課長、角坂県立学校人事課長、岡島小中学校人事課長
案浦書記長、小島書記、岩城書記、太田書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
- (1) 議事録の承認
- o 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - o 日吉教育長が、櫻井委員を議事録の署名者に指名した。
- o 会議を公開しないこととする事項について
- 日吉教育長が、第 8 1 号議案の審議について、会議を公開しないこととする動議を提出
- 全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
- o 日程の変更について
- 日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出
- 全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2) 報告事項

令和6年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の結果について

無川教職員採用課長（提出理由、令和6年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の1次受験者数、最終合格者数及び倍率（全校種）等について説明）

小林委員 セカンドキャリア特別選考を今年度新設されたということですが、ペーパーティーチャーの養成セミナーをきっかけに応募された方はどれくらいいるのか教えてください。

無川教職員採用課長 昨年度のペーパーティーチャーセミナーに参加して、今回の試験に臨んだ方の数字については把握していません。そういった方がいらっしゃるということは、受験生と話をする中で聞いています。昨年度の流れから今回のセカンドキャリア特別選考へつなげられていることは一定程度効果があったと考えています。

小林委員 効果をきちんと把握したいので、セカンドキャリア特別選考だけではなくて、一般選考の試験を受けている方もいらっしゃると思うのですけれども、どれくらいの方が受験されていてどれくらいの方が受かったのかということは、また別の機会でも結構ですので、教えていただきたいと思います。臨時的任用教員の経験者特別選考が二つありますが、どれくらい臨時的任用教員だった方が受けられているのでしょうか。例えば1、2年以内の方が多いのか、5年以上臨時的任用だった方がいらっしゃるのか、その辺りの内訳をおおまかでもよいので把握されていたら教えてください。

無川教職員採用課長 臨時的任用教員の経験が長い方もいれば短い方もいます。特にこの年次が多いという特徴はなく、満遍なくいるという認識です。

小林委員 その辺りもできれば把握したいです。数字を出していただければと思います。また、受けている人と合格している方それぞれで分布が違うのではないかと考えています。これからの教員の皆さんを育てていくというところにも関わってくると思いますので、是非別の機会でもいいので教えてください。

日吉教育長 調べて後ほど報告ということをお願いします。

首藤委員 何とかこれだけの倍率になったことは、様々な取組を行った結果だと思っています。これまで大学で勤めた経験から、倍率が3倍を切ると採用される教員のタイプがこれまでと異なってくると感じます。初任者研修や最初の3年間のサポートがとても重要になってくると思いますので、その辺りを今までどおりではなく、新しく入ってくる教員のタイプに応じた支援をしてほしいと思います。質問ですが、セカンドキャリア特別選考は有効な取組に今後なっていくと思います。今までは初任者に対し、退職校長等がサポート役となり1年付いていたと思いますが、セカンドキャリア特別選考で採用された教員も同じようにサポート役が付くということでよろしいでしょうか。

岡島小中学校人事課長 同じように指導教員が付きます。

首藤委員 今まで教員以外の職業で経験を積んできた方々ですが、一方で新しい世界に入っていくこととなります。採用された教員の熱い思いが実現できるように支援をしてほしいという面と、新しい風を学校に作ってくれる存在でもあると思いますので、今までどおりのやり方ではなく、支援を行っていただきたいということをお願いします。

櫻井委員 最終合格者が1,736人ということですが、不足人員に足りているのかどうか教えてください。また、最終合格者の中に他県等と併願されている方もいると思いますが、優秀な方は引く手あまたなので採用できないということが起こります。合格者の方たちに対して、是非埼玉の教員になってくださいというような働き掛けを行っているのかどうか教えてください。3点目ですが、来年度から大学3年次の受験者に対して第1次試験の「一般教養」と「教職科目」を実施するということですが、「教職科目」と「専門分野」は何が違うのでしょうか。

角坂県立学校人事課長 不足人員を満たしているかという御質問に対してですが、採用予定は満たしています。ただ、急な代替の場合などは臨時的任用教員を充てることとなります。

岡島小中学校人事課長 小中学校についても、採用の予定者は満たしています。今後の児童生徒数によって教職員定数が決まりますので、その数を見ながら採用者数を検討していきます。

無川教職員採用課長 二つ目の合格者に対するフォローについてですが、11月以降に合格者全員を集め、書類を提出してもらったり、ヒアリングをしたりする機会があります。そういったときに、埼玉県の魅力伝える機会があります。また、ヒアリングにおいて一人一人の合格者の状況を把握しています。3点目の御質問についてですが、「教職科目」は教育の法規や心理など、教育課程で学ぶ科目を第1次試験では一般教養と一緒に受験してもらいます。「専門分野」は専門の教科がありますので、専門教科の科目については4年次に、4年生から受ける学生や一般の方と一緒に受験をしていただくような試験の仕組みにしています。

櫻井委員 例えば国語の教科を選ぶか社会の教科にしようか悩んでいる受験生でも、第1次試験は教科を指定せずに受けられ、次の年に高校のこの科目の教員になりたいということで専門分野の試験を受けるという理解でよろしいですか。

無川教職員採用課長 委員の御認識のとおりです。

櫻井委員 例年、合格後の辞退者は出ているのでしょうか。

無川教職員採用課長 本県の辞退者数は大体3パーセントから5パーセントくらいの間で推移しています。他県等と比較すると、比較的辞退者数は低い県です。昨年は約90名、一昨年は約60名でした。辞退者数を勘案の上、今回の合格者としています。

戸所教育長職務代理者 倍率は0.1ポイント上がっていますが、合格者数が前年に比べて少ないので数字的には上がるという見方もできますので、改善をしたからよかったという捉え方はしない方がよいと思います。セカンドキャリア特別選考について、応募者を増やすために、今どのような形でアプローチをしているのか教えてください。また、大学3年生を対象とした一部前倒し受験については、非常によいのかなと考えますが、大学3年生や大学4年生が主役なので、この方々に対してヒアリングをしているのか、あるいは前向きな意見をもらっているのかについて教えてください。

無川教職員採用課長 セカンドキャリア特別選考については、今年度新設しましたので、4月にセカンドキャリア特別選考の受験を希望される方向けの説明会を開催しました。その中でねらいなどを来ていただいた方に説明しました。説明会の

参加者は200名を超えました。そのうち、半数以上が今回の採用試験の受験に結び付いており、効果があったと考えています。説明会では、免許を持ちながらも今は違う仕事をしている方や、子育てが落ち着いたので教職を目指してみようという方など、いろいろな方がいるということが把握できました。今後についても、この特別選考については引き続き実施していきたいと考えています。二つ目の御質問についてですが、直接学生に聞いたわけではありませんが、大学の先生方に事前にお聞きしたところ、今年既に実施している東京都や千葉県の採用試験を県内の大学3年生が受験しているという声を聞いています。また、学生も受験機会が増えることを前向きに捉えている方が多いという話を聞いています。東京都の今年度の採用試験を大学3年生で受験した人数は、志願段階で2,800名を超えており、全受験者数に対して結構な割合になります。千葉県でも同様の状況です。大学3年生で受験したいという学生のニーズがあるということが認識できましたので、来年度から本県でも実施していくことにしています。

戸所教育長職務代理者 どういった大学に聞いたのでしょうか。

無川教職員採用課長 本県と連携協定を結んでいる大学が五つあります。その大学の先生とはお話する機会がよくあります。その中で、学生の様子などをお聞かせいただきました。

戸所教育長職務代理者 首藤委員からは3倍を切ると教員のタイプが変わるという話もありました。冒頭にも話しましたが、倍率が0.1ポイント上がったから良い悪いではなく、他のアプローチができないか、新しい試みでこういう形で倍率を上げていきたいというような考え方を是非持ってもらいたいと思います。児童生徒のためになる教員を確保するためにも倍率を上げるということは一つの大きな目標ということであれば、具体的にトライしていただきたいと思います。

坂東委員 ペーパーティーチャーの方が再履修する場所はあるのでしょうか。医師の場合、一度お休みして再就職するとき、手技的に少し自信がなくなることがあります。そういったときには指定する病院において、研修させてくれる仕組みがあります。この仕組みが奏功して、母親になった方が再就職し始めています。ペー

パーティーチャーの方が現場に出られるような仕組みがあるのかどうか教えてください。

無川教職員採用課長 当課で「彩の国学校現場体験事業」というものを11月から2月にかけて実施しています。小中学校を中心に現場と合格者をつなげる取組をしています。上限30日として、実際に入職する前に体験をすることができます。現在は学生向けに実施していますが、セカンドキャリア特別選考合格者も対象に加えて実施していこうと考えています。

首藤委員 大学3年生の選考のことですが、区分を決めずに出願できるとありますが、小学校も含まれるのでしょうか。

無川教職員採用課長 含まれます。

首藤委員 例えば算数科指導法や国語科指導法は大学では教職科目に分類されますが、そうした指導法は採用試験においては、専門分野に含まれるのかどうか教えてください。

無川教職員採用課長 想定をしているのは、例えば中学校の理科の教員と高校の理科の教員のどちらにしようかというような、教科がある程度明確になっている方を想定しています。「教職科目」については、基本的な教員の資質として身に付けておいてほしいものを確認するための内容にしています。その後専門が決まった段階で大学4年次に専門分野の試験を受けてもらいたいと考えています。受験生が受けやすい環境を用意できるよう進めていきたいと考えています。

首藤委員 全ての学部に通じた部分を中心に「教職科目」の試験を実施するということですね。そうではない科目については、採用試験では「専門分野」として試験を実施するという考え方でよいということですね。

無川教職員採用課長 委員の御認識のとおりです。

日吉教育長 大きく2点御指導いただいたかと思えます。しっかり数字を分析して、エビデンスを基に今後の対応を検討することをしっかりやっていきたいと思えます。もう一つは3年生に対する試験の関係ですが、混乱がないようにアナウンスの仕方なども工夫して適切にやってまいりたいと思えます。

(3) 次回委員会の開催予定について

10月26日(木)午前10時

<非公開会議結果>

(4) 議事

第81号議案 教職員の懲戒処分について

非違行為を行った南部地区の公立中学校の男性教諭(34歳)に対して、
免職する懲戒処分等を決定しました。